

PHOENIX



KOGA
COMMUNITY
HOSPITAL
NEWS

NEWS



13th
2018.11

Contents 目次

■	Headline Article		
	「社会医療法人」移行のご挨拶	・・・	3
■	Special Feature Article		
	ER（Emergency Room） 救急医療	・・・	4・5
	地域医療を支える連携へ		
	―二次救急医療体制への参加―	・・・	6・7
■	TOPICS		
	―地域の皆さんへ情報発信―		
	「2018年 敬老会」を開催！	・・・	8
	「第1回市民公開講座」を開催!!	・・・	9
■	MINI-TOPICS	・・・	10
■	温故「地」新（Community Information）	・・・	11



理念



私たちは、ひとりひとりの健康と尊厳を守る、地域のための病院（コミュニティーホスピタル）をめざします。

基本方針

1. 地域の安心の病院
2. 地域の信頼の病院
3. 地域の良質の病院

「社会医療法人」 移行のご挨拶

9月末に日本列島を襲った台風24号の影響で、静岡県内では県西部を中心に、ここ焼津市内でも停電や断水、家屋・看板の崩壊など大きな被害を受けました。

ご被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当法人は、11月より特定医療法人から社会医療法人へと移行し、新しいスタートを切ることとなりました。

以前より社会医療法人への移行準備を進めてまいりましたが、平成30年8月に静岡県医療審議会から認定の承諾を頂き、その後正式に承認を頂きました。

これも一重に行政、関連団体のご理解とご指導の賜物と厚く御礼申し上げます。

社会医療法人とは、救急医療やへき地医療、周産期医療など特に地域で必要な医療の提供を担う医療法人を、社会医療法人として認定し、継続して良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るために創設されたものです。

当法人では、昨年4月より南伊豆町に「市之瀬診療所」を開設し、通院が困難なへき地で受診をすることが大変な地域の皆さんに医療提供をすべく尽力してきました。

また地元焼津市におきましても、今年4月より志太榛原地区の「病院群輪番制病院」に加わり、二次救急医療を担っております。

静岡県で初めて認定されたという事で、改めて身が引き締まる思いでおります。

今後も地域の皆さんの健康を守っていけるよう、職員一同たゆまぬ努力を続けていきます。

今後とも変わらぬご支援・ご理解の程、よろしくお願ひ申し上げます。



社会医療法人 駿甲会
コミュニティーホスピタル甲賀病院
理事長 甲賀 美智子





Emergency

救急医療

R Room

24時間 365日 地域を支える

地域には、いざという時に安心して医療を受けられる環境が必要です。
救急医療は、言わば地域住民の皆さんの安心した生活を支える「砦」。
私たちはその役割を担うために、日々研鑽に努めています。

地域医療を支える

当院は、今年4月より志太榛原地区の「病院群輪番制病院」として、二次救急医療体制※に加わっています。

従来ここ志太榛原地区では、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、市立島田市民病院、榛原総合病院が輪番制を取っていました。その輪番制に当院が新しく加わり、毎週水曜・木曜日が受入日となっています。

これまで焼津地域では救急対応できる循環器医師が不在で、緊急を要する心筋梗塞患者さんは静岡市や島田市まで搬送を余儀なくされていました。遠方への搬送のため搬送途中に状態が悪くなり、心肺停止に陥ることもありました。

そんな環境下で、当院は昨年9月より緊急カテーテル治療にも対応できるようになり、24時間365日循環器疾患患者さんの受け入れも可能となりました。

これまでに5例の心筋梗塞患者さんの搬送がありましたが、早急なカテーテル治療の甲斐もあり、搬送された患者さんは無事に社会復帰されております。

現在では日本国内に住む限り、諸外国と異なり、発熱などの感染症に対しても一定の時間内に医療機関の受診をすることが可能です。

ただ軽症の疾患による受診が増え、救急医療施設が多忙になり混乱する可能性があることも否定できません。

皆様の適切な受診行動が、治療を必要としている方へ高度な救急医療を提供できるという事をご理解いただき、ご協力頂きますようお願い致します。

そして最近では災害も多く発生しており、今年7月に発生した豪雨被害のあった西日本でも、河川の氾濫、土砂崩れなどが発生し、死者が200名を超えるなど多くの被害をもたらしました。被害にあわれた皆さんの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

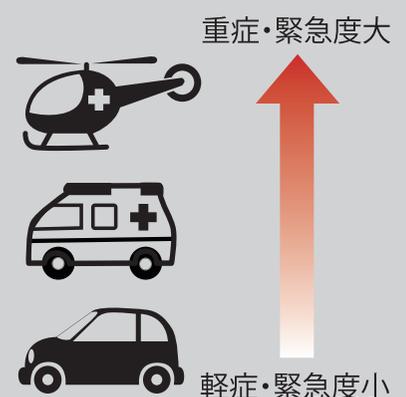
9月末には日本を縦断した台風24号の影響を受け、ここ焼津でも停電や断水など市民生活に支障をきたす事態となりました。

有事の際の準備は各ご家庭で実施して頂くことは勿論ですが、疾病や怪我などご家庭で解決

※ 救急医療の仕組み

救急医療体制は、救急医療機関を重症度に応じて次の3段階に分けて対応しています。

段階	症状など
三次救急	脳卒中など特に症状の重い患者さん ◆救命救急センター
二次救急	入院や手術が必要な重症の患者さん ◆病院が輪番制で担当
初期救急	風邪、発熱など比較的軽症の患者さん ◆休日・夜間急病センター ◆在宅当番医



連携へ

— 二次救急医療体制への参加 —

できない身体の負担は、我々医療機関が支えていかななくてはなりません。

急に胸やお腹が痛むなど救急疾患は何時発症するかわからず、また何時、誰に起こるのかも分かりません。

当院では、必要としている方に適切な医療を提供していけるよう、地域の皆さんにもご理解を頂きながら、地域住民の皆さんの健康を守るべく、引き続き日々の研鑽につとめていきたいと思えます。

患者さんの命をつなぐ為に、医療のリーダーシップをとる医師をはじめ、看護師、コメディカル（医師・看護師以外の医療従事者）、事務員など多職種スタッフでチーム医療を形成しています。



救急症例検討会

焼津地区の救急隊員と症例検討会を実施しています。

この検討会では、救急隊が搬送した事例について適切な処置が行われたのか、実際に搬送する時の注意点、入院後の経過などを医師とともに検討します。



院内勉強会

当院には、救急看護認定看護師・ICLS インストラクター・ACLS インストラクター・BLS プロバイダー等の資格を持つ看護職員が在籍しており、急変対応勉強会など各種勉強会が開催され、提供する医療サービスの質の向上に取り組んでいます。





地域の皆さんへ情報発信



「2018年敬老会」を開催！

当 法人関連施設で、「敬老会」が開催されました。

9月を迎え、各施設では毎年様々な趣向を凝らした催しが開催されています。

当院では、長寿のお祝い、患者さん・利用者さんによる歌・楽器演奏（音楽療法発表）、「ALBOS Trio（マリンバ・ピアノ・パーカッション）」コンサート等が行われました。

その後、駿甲会コーラス部による合唱も披露され、患者さん・利用者さんも一緒に歌ったり、笑顔で踊ったりして楽しく和やかな雰囲気では進みました。

初めて参加される利用者さんも多数おられましたが、皆さん真剣に取り組んでおられ、アンコールをもらったときは「頑張ってきて良かった」と喜んでおられました。

利用者さんや患者さんには、これからも健康に気を付けて、素敵な笑顔を届けて頂きたいと思います。



敬老会

長寿のお祝い 10:35

利用者さん・患者さんによる
歌・楽器演奏 10:50

- ふるさと 旅人よ(歌)
- Young Man(体操)
- 聖者の行進、星条旗よ永遠なれ(楽器演奏)

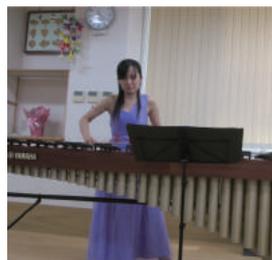
ミニコンサート 11:10

- 道化師のギャロップ・ユレイズミーアップ
- 忘れな草をあなたに・上を向いて歩こう
- くまん蜂の飛行

職員コーラス 11:40

- この道
- アニーローリー
- 花 ～すべての人の心に花を～

9月13日(木) 10:30～12:00
D棟1階 通所リハビリテーションセンター



9/1 (土) コミュニティーケア大井川

9/8 (土) コミュニティーケア吉田

9/15 (土) コミュニティーケア高草



地域の皆さんへ情報発信

「第1回 市民公開講座」を開催！！



第1回 市民公開講座

知って得する！便秘の話！！

「不老腸寿」の秘ケツ

演者：特定医療法人 駿甲会
コミュニティーホスピタル甲賀病院 副院長 甲賀啓介

2018年
10月12日(金)
14:00～15:30

会場 ウェルシップやいづ
(焼津市総合福祉会館)
焼津市大覚寺3丁目2-2



お問合せ先

 特定医療法人 駿甲会 甲賀病院
コミュニティーホスピタル
企画課 054-628-5500



講演する当院甲賀副院長



160名を超える市民の皆さんに聴講頂きました



会場の「ウェルシップやいづ」

平成30年10月12日(金)14:00より、『第1回 市民市民講座』がウェルシップやいづ(焼津市総合福祉会館)で開催されました。

今回の講演会では、当院甲賀副院長による『知って得する！便秘の話！！「不老腸寿」の秘ケツ』と題して、便秘に対してお悩みや興味のある市民の皆さんに向けて講演しました。

当日は160名を超える市民の皆さんにご来場いただき、会場では感嘆の声や笑い声に包まれた和やかな雰囲気では進行し、大盛況となりました。

約1時間の講演終了後の質疑応答では、多くの皆さんから様々な質問が飛び交い、改めて地域医療を担う当院への期待値の大きさを肌で感じる事が出来ました。

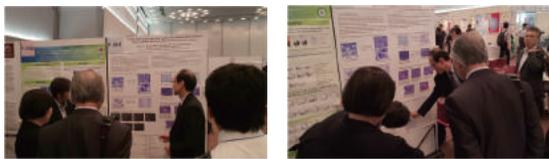
また予想を超える多くの皆さんにお越し頂いた為、急遽会場を変更するハプニングもあってご迷惑をおかけすることもありましたが、無事に開催する事が出来ました。

ご来場頂いた皆さん、誠にありがとうございました。

当院では、引き続き今後も地域に必要とされる病院として、市民の皆さんにより高い質の医療が提供出来るよう、研鑽に努めていきたいと思っております。



発表した甲賀新名誉院長、甲賀美智子理事長、
鄭相国研究員、渡邊学統括科長



会場の様子

第 77 回日本癌学会学術総会で発表 —甲賀ライフサイエンス研究所—

平成30年9月27日～29日にかけて、大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪にて開催された「第77回日本癌学会学術総会」において、甲賀ライフサイエンス研究所の鄭相国研究員、甲賀美智子理事長らが、長年の研究の成果を発表しました。

「細胞間相互作用」のセッションで鄭研究員が、がん治療新薬や遺伝子治療等につながる物質の作用発現や精製に関する発表を行いました。

発表後には、甲賀理事長や鄭研究員らと会場に集まった多くの研究者との間で、活発なディスカッションが行われました。

甲賀ライフサイエンス研究所では、本物質の単離精製・構造解析を鋭意進めており、さらなる成果が期待されています。

へき地医療圏で講演会を開催

—ひとりじゃないよ「患者・家族の物語」—

平成30年8月20日（月）16：00より「南伊豆町健康福祉センター」、10月22日（月）15：00より「河津町保健福祉センター ふれあいホール」で、当院甲賀副院長による講演会（『ひとりじゃないよ —患者・家族の物語—』）が開催されました。

当日は、南伊豆町から87名、河津町・東伊豆町からは86名の市民の皆さんに会場頂きました。

講演会は看取りについての内容でしたが、参加した皆さんは真剣に聴講されていて、時には笑い声や笑顔に包まれ和やかな雰囲気では進行していきました。また質疑応答では、様々な質問が寄せられ、町民の皆さんの熱気を肌で感じる事が出来ました。

当法人では、引き続き今後も医療・介護を軸とした地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築・充実に向けて努めていきたいと思ひます。

当院職員と講演会を主催する「下田メディカルセンター 賀茂地区在宅医療介護連携推進支援センター」杉山 孝二様（下段右）、
「南伊豆町地域包括支援センター」所長鈴木康子様（下段中央）



南伊豆町健康福祉センター



河津町健康福祉センター



甲賀名誉院長が焼津市より表彰

—「有功章（保健衛生功勞）」受賞—

平成30年11月1日（木）、焼津市文化会館小ホールにて当院甲賀新名誉院長が焼津市より表彰を受けました。

この「焼津市表彰」は、長年にわたり焼津市政の発展に寄与した方を表彰する為に昭和46年より創設されたものです。

甲賀名誉院長は、学校医として長年地域に貢献されたという事で、この度「有功章（保健衛生功勞）」を受賞しました。

当院が開院してから30年が経過し、これまで地域の皆さんの健康を守る為に良質な医療提供を心がけてきた取り組みを評価頂けて大変喜ばしく思ひます。

当院では、引き続き地域の皆さんに必要とされる医療サービスを提供していきたいと思ひます。



各章を受賞された皆さん



このコーナーでは、皆さんに地元の魅力を更に深く知っていただけるように、地域の色々なスポットや新しいトレンドを紹介していきます。



90th
ANNIVERSARY

Since 1928

ラジオ体操は1928年(昭和3年)から始まっており、今年で90周年を迎えます！

ご存知ですか？『ラジオ体操』の町、焼津！

皆さんは焼津市が「日本有数のラジオ体操エリア」という事をご存知でしょうか？

NPO全国ラジオ体操連盟に登録されているラジオ体操会場の数は1869ヶ所にものぼり、静岡県内にある体操会場は269ヶ所あります。その静岡県の中で、焼津市は政令指定都市の静岡市(107ヶ所)、浜松市(80ヶ所)に次ぐ第3位の70ヶ所(2018年9月現在)も存在しているのです。

約14万人の人口に対し、市内にある体操会場が70会場もあることを考えると、焼津市の「ラジオ体操熱」は相当なものだという事がご理解頂けるでしょう！

その焼津市のラジオ体操普及にご尽力頂いているのが、「静岡県ラジオ体操連盟」常任理事で「焼津市ラジオ体操連盟」理事長の青木武夫さんです。

元々市の職員として勤務されていた青木さんは、若いころより陸上、バレー、ソフトボールなど様々なスポーツに積極的に取り組んでおられ、定年後に焼津市ラジオ体操連盟に所属し、約20年間悪天候以外は毎日会場に足を運び、ラジオ体操を続けています。また「全国ラジオ体操連盟公認一級指導士」の資格も取得されており、焼津市のラジオ体操普及に精力的に努めていらっしゃいます。

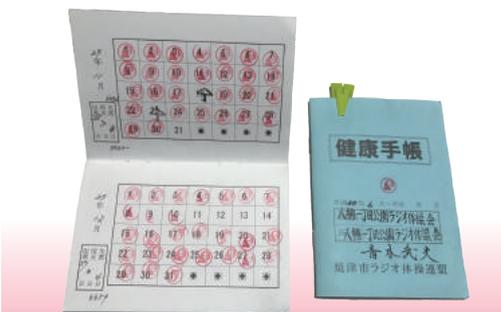
毎年8月には、県内各会場で「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が行われており、今年は焼津市・大井川合併10周年記念を記念して焼津市陸上競技場で開催され、約1,800名が参加しました。

スマートフォンを片手に当時の写真を見せてくれる青木さん。「普通に写真を撮るよりもキレイに写るんですよ」とラジオ体操ユニフォームを身にまとい、スマートフォンを操作しながら語るその笑顔は元気いっぱい！

焼津の皆さんが元気な理由が垣間見えた瞬間でした(笑)！！

健康寿命を延ばしていけるよう、皆さんもラジオ体操を今一度見直して、ラジオ体操会場に足を運んでみてはいかがでしょうか？

これまでの功績が認められ、今年8月連盟より表彰を受けた青木さん



青木さんはラジオ体操参加日数が7,000回を数える大ベテラン！
市内には10,000回を超える強者も！！



今年8月に焼津市で開催された「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」





社会医療法人 駿甲会 コミュニティーホスピタル 甲賀病院

〒425-0088

静岡県焼津市大覚寺 2-30-1

Tel (054) 628-5500 Fax (054) 628-7279

コミュニティーホスピタル甲賀病院

Official Site

H P <http://www.sunkohkai.or.jp>



※ 時間は各市役所・区役所を起点に算出しています。